

②

座れる場所が  
豊富にあること



③

ハイライトを中心とした  
活性化



④

エッジからアクティビティを  
眺めていられる



⑤

エッジのあたたかみ  
歓迎感



BOLLICINA  
Caffè  
Colato

Special  
SPRITE

Caffè  
Colato



⑥

用途の多様性



⑦

# 飲食店の存在



LE PAIN QUOTIDIEN

LE PAIN QUOTIDIEN

オープンカフェはその  
中核として機能する  
重要な存在



オープンカフェは7つのルールを内包する  
小宇宙のような存在

→カフェから街が変えられる！

日本でも少しずつ . . .



丸の内ブリックスクエア  
2009年～





丸の内仲通り  
2015年～



ブライアントパークを  
目指してつくられた  
南池袋公園 2016年～  
地価も上がった



大阪のミズベリング 何もなかった堤防沿いに

北浜テラス  
2009年～



タグボート

場があることで  
ある経験が促され  
その経験が人生を変える  
きっかけになる

# 理想の未来

人がもっと自分らしく

自由に生きられるようになってほしい



同調圧力 諦め

# 私の真使命

人が自由に、自分らしく  
生きるための知の還元

# “Interpréter”

解釈する、判断する、受け止める

→自分の頭で受け止め、  
相手に伝わる言葉で言い換える



つまり、通訳や翻訳と、  
図書館に籠って研究する人や、  
取材をして伝えるジャーナリストには  
同じものが流れている

# 飯田家の祖母



祖母は大阪府初の女性市会議員  
民主的な活動に人生を捧げた

# 飯田家の祖父

祖父母は1938年という戦争直前に、  
あらゆる知識について  
広く語り合う会を設けていた。  
知識を象牙の塔から一般の人へ

また、祖父は共同設計という  
設計会社を設立、現在でも  
続いている

# 小さい頃から 夏は親族17人で ホテルへ

30代を過ぎて気付いた  
小さい頃に本物に直に触れ  
ることの重要性



・ 父→デンマーク、アメリカ、自由、本物指向、部下に愛される

・ 母→食への強いこだわり、日本文化、茶道、新年会



# 私に引き継がれているもの

活動家 社会への問題意識  
お茶を囲む場から何かが生まれる  
人の集まる場づくり  
外国への憧れ 知の還元  
本物志向



これまで習得してきた  
外国語を通じて、  
人が自分らしく生きられるための  
知を世界中から探り、考え、  
自分の言葉で伝えていく

# World News Café

- ・ 英文読解を通じて日本にいながら海外のニュースや知にダイレクトに触れられる場
- ・ 2020年4月から60回以上開催
- ・ コロナ、ワクチン、都市の未来、環境問題、BlackLives Matter,大統領選、アート
- ・ 社会について語りあえる仲間づくり





# カフェ・まちづくりの セミナー&ワークショップ開催

- ・ 社会の中でカフェが果たしうる役割とは？
- ・ パブリックライフ活性化の7つのルール
- ・ どんな場が街にあってほしい？
- ・ 今の街をどう変えたらいい？



パブリックライフ活性化とオープン  
カフェに関する本も  
2021年出版を目指しています

場づくりに興味のある方  
まちをもっとよくしたい方  
サードプレイスやオープンカフェに興味のある方

英語を通じて世界に視野を広げたい方  
ヨーロッパに行きたい方

ぜひお気軽にお声かけください。

<https://www.la-terrasse-de-cafe.com>

“しあわせな未来をあなたに”

-Miki IIDA